

個人質問

議会事務局
処理欄

令和3年8月17日 12時57分 受付

質問順位 第9番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 本村 強

一般質問の通告について

令和3年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. がんで町民のだれ一人も悲しい思いをさせないために、早期発見の仕組みを。</p>	<p>【趣旨説明】2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんによりなくなるという時代であります。かつては、人ごとであるかのような感覚で聞いていたこのことが、もはや、自分の姉をがんで亡くし、親父が、おふくろが、そして知人・友人が、がんに罹患した事実と直面すると、さすがにひとごとではなくなります。現在では、早期発見、早期治療につなげると、医療の進歩によりほとんどのがんを克服できるといわれるようになりました。国においても、早期発見につなげるための指針を示し、自治体におけるがん検診を実施しています。対象者の50%受診率を目指した取り組みがなされています。本町においても、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、前立せんがん検診、胸部レントゲン検診など費用を無料にした取り組みや、対象年齢を広げた取り組みをいただいています。ありがたいことであります。</p> <p>しかし、全国的にも受診率がなかなか上がらず、3割程度と言われております。この状況を何とか解消し、一人でも多くの人をがんの苦しみから救いたいという思いで、HIROTU バイオサイエンスという会社を起業した、理学博士の広津崇亮(たかあき)氏の活動を紹介します。線虫の研究者として学位を取得するプロセスの中で、線虫の並外れた嗅覚に着目した広津氏は、その能力を活用した画期的な、がんのリスク検診、「N-NOSE」を思いつきます。</p> <p>一滴の尿で全身のがんリスクを発見することができるN-NOSEは嗅覚に優れた生物が持つ特性である、「がん患者の尿が放つ匂いに集まり、健康な人の尿からは逃げる」という性質を利用した検査であります。新しく誕生したこの検査は、簡単です。採尿するだけでOKです。ステージ0や1の超早期がんにも反応することが確認されています。N-NOSEの5つの利点を挙げてみます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：わずかな尿で検査できる。 2：ステージ0やステージ1の早期がんにも対応可能 3：一度の検査で全身のがん(現在、15種類)のリスクを調べることができる。 4：線虫が見分けることができる感度(罹患者を陽性と見分ける)は86.6%であり、がんでない人を陰性と判断する特異度は90%と、いずれも高精度であること。(ちなみに腫瘍マーカーの感度は25%である) 5：身体的な負担が少ないので定期的(年1回)な受診がしやすい。というメリットもあります。しかし、現在、検査費用は実費となります。このN-NOSEの情報を得た私は、予約をして、さっそく豊田記念病院で検査を受けてきました。費用は、10,760円でした。2か月後に結果が出る予定であります。 <p>以上の内容を踏まえて、以下質問いたします。</p>

【質問事項】

- ① 本町の直近の各種がん検診の対象者数と受診率は。
- ② 受診率のここ数年間の推移は。
- ③ 受診結果の内容は把握しているのか。
- ④ 町のがん検診の受診率向上のためにも一次スクリーニング検査に、N-NOSEを採用してはどうか。
- ⑤ がんで町民の誰一人も悲しい思いをさせないためにも、N-NOSEの受診費用の一部を補助して、推進する考えはないか。

以上5点についてよろしくお願いいたします。